



本町ほのぼののだより 第10号

発行：中野区立本町図書館 中野区本町2丁目13番2号 TEL 03-3373-1666

発行年月日：平成24年12月22日 第10号

第10回 本町図書館 個性づくりテーマ展示

遊びから入る工芸

本町図書館では、『文化・芸術・芸能』に関する資料を、絵画や音楽、工芸、伝統芸能など幅広い分野にわたって収集・展示をしております。

第10回目となる今回は、「遊びから入る工芸」と題して、日々の生活が楽しくなるような工芸をご紹介します。一言で伝統工芸というと、歴史の重みや伝統の格式があって手を出しにくいイメージがあるかもしれませんが、けれど遠ざけるにはもったいない魅力があります。使い心地だったり、愛らしい佇まいだったり、常に身近に置いておきたい「何か」があるから伝統として残ってきたのかもしれませんが。工芸品を一部の人々だけのものに留めてしまうのは惜しいことです。ワクワクするような伝統工芸ワールドをご紹介します。

触れる、遊ぶ、愛でる工芸品。毎日の生活を楽しくする何かを見つけてください。

展示場所：本町図書館 2階書架

展示期間：平成24年12月22日(土) ~ 2月21日(木)

※ 展示資料は貸出もできます。



さまざまな工芸品の魅力

ガラス

一見、冷たい素材ながら温かさも柔らかさも感じさせるガラス。色々な形で存在する“ガラス”に惹かれます。光を通して透けて見えるむこう側の世界をキラキラしたものに変えてくれるその透明感。日の光やキャンドルの光を利用してガラスが生き生きと輝く瞬間はワクワクしてきます。

江戸切子

切子は高い専門技術と精神力がいる工芸です。最近では、若い作家や女性作家も活躍し、現代的なデザインで、工芸をもっと身近に感じることできるものにしてきています。その佇まいは、ぜひ家に連れて帰りたくなるものばかりです。

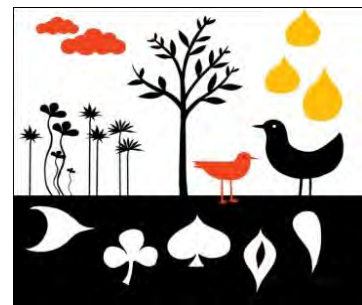


ぽってりとしたフォルムが魅力のコップや、気泡もガラス工芸の面白みの一つです。食器に限らず、ガラスは姿形を変えて私達を癒してくれます。ぜひ、お気に入りのガラス工芸を見つけてください。

万華鏡の不思議

眩い世界を作り出す万華鏡は、同じ映像が二度と見ることが出来ないと言われますが、本当なのでしょうか？確率の問題ですが、二度出てくることはあります。けれどそれは、例えば20種のビーズが入った万華鏡を、6秒に一回動かすとしても、4600億年以上という途方もない年月がかかります。

参考資料：「万華鏡」大熊進一 文溪堂 児童 759才 中央図書館他所蔵



おすすめ本：「浅原千代治 ガラス工芸 NHK工房探訪」浅原千代治 日本放送出版協会 中央図書館所蔵
「江戸切子 その流れを支えた人と技」山口勝旦 里文出版 南台図書館所蔵 など

紙物

“紙”の魅力は、変幻自在に形を変えるところにあります。平面な紙から立体的なものを作り出したり、紙の素材そのものを楽しんだり、いくらでも応用が利きます。手紙一つ書くのも、便箋にこだわってみたり、折り方に工夫を凝らしたり、楽しさは無限大に広がります。



お札

千円札紙幣で作った「ターバン野口」の作品から話題になりました。金運・仕事運・対人関係など、各種“効き目”に合わせて、プレゼントやお守りとして使用できます。お財布に入れておくだけで効果バツグンです。アイデア一つでお金も楽しいアイテムになりますね。

参考資料：「お札DEおりがみ」いそにしまさお 宝島社 754.91 南台図書館所蔵

紙のたのしみいろいろ

手から手へ伝えられてきた伝承おりがみの代表「折り鶴」は世界中で折られ、今や“おりがみ”という言葉は「Origami」として世界の共通語になっています。折り紙を使った模様切り紙や、立体切り紙、揺れると素敵なモビールなど、図案集なども含めて図書館にはたくさんの紙を楽しむ本があります。ぜひ手にとってみてください。

箸袋

何かと手にする機会の多い箸袋は、実は隠れたおりがみ用紙。箸袋おりがみをマスターすれば新年会、忘年会、歓送迎会など、いろいろな場で盛り上がること間違いなしです。基本の箸置きから自慢できるものまで遊べるおりがみ満載です。

参考資料：「おとなの箸袋おりがみおかわり」しがり朗 主婦の友社 754.93 本町図書館所蔵

トイレットペーパー

清掃済みのサインや、次の人が使いやすいようにとの思いやりの気持ちから折る“三角折り”。その他にも来客時に歓迎を込めて、訪問先ではお礼を込めて、家族間でのメッセージにも使える沢山の折り方が紹介されています。やはりここでも鶴が登場しています。

参考資料：「トイレットペーパーおりがみ」東大折紙サークル「Orist」 754.91 講談社 本町図書館所蔵

おすすめ本：「切り絵作家 garden の素敵な切り絵図案集」garden 朝日新聞出版 江古田図書館所蔵
「かるた（NHK美の壺）」NHK「美の壺」制作班 日本放送出版協会 本町図書館所蔵
「江戸風大全集」茂出木雅章監修 山海堂 本町図書館所蔵 など

木工

日本には昔からある独楽や羽子板や木彫りの人形など、様々な木を使った工芸が存在しますが、これだけ長く愛されてきたのはなぜでしょうか。素朴な木の温もりや、安心感もその一つでしょう。そこに職人の技が加えられ、何とも言えない世界観・個性が生まれます。



マトリョーシカ

ロシアの民芸品で有名ですが、そのルーツは日本にあるのをご存知でしたか？ロシアの彫刻家の一人が、箱根の入り子（だるま・七福神）を見てヒントを得、創りだした人形という説があります。19世紀のロシアで一般的であった「マトリョーナ」という女性の名前の愛称からこの名がつけました。丸みを帯びたフォルム、鮮やかな色合いが心を和ませてくれます。

また、マトリョーシカにはピースの数だけ願いを叶えてくれるという言い伝えがあります。まず、一個目の一番大きなマトリョーシカに願いを込めて飾ります。その願いが叶ったら、次に大きなマトリョーシカに願いを込めるというように、願いが叶うたびに一つずつマトリョーシカが増えていきます。5ピースなら五つの願いが叶うという訳です。この他にも、大きな人形から小さな人形が出てくる様子から、出産祝いなどにも喜ばれます。

こけし

一見「ダサイ」「暗い」「ちょっとこわい」というイメージがあるかもしれませんが、東北に生まれ、東北が育んだ素朴な人形です。今では、一部の若い女性にも熱狂的なファンがいるほどです。絵本作家のディック・ブルーナも自宅に伝統こけしを飾っていたそうです。

インテリアとしてさり気なく飾ってみてはいかがでしょうか。



参考資料：「Kokeshi book」 cochae
青幻舎 759.9㊦ 鷺宮図書館所蔵

おすすめ本：「羽子板」山田徳兵衛 うんそうどう 芸艸堂 本町図書館所蔵

「日本の手仕事」小沢典代 主婦の友社 本町図書館所蔵

「図説日本の職人」神山典士・文 河出書房新社 本町図書館所蔵 など

布物

ボロボロになっても大切にしたいものってありませんか？テディベアや、アンティークの人形など、子どもから大人まで親しまれています。テディベアは幸せのシンボルです。送る側にとっては、子どもの幸せを願う気持ちが込められています。



テディベア

誕生は1903年。アメリカ第26代大統領のセオドア・ルーズベルト（愛称テディ）が熊狩りに出かけ、捕まえた子熊を撃たずに逃がした話を翌日のワシントンポストが報じました。ルーズベルトの誕生日である10月27日はテディベアの日となり、アメリカ・オハイオ州在住のラッセル・マクリーンさんが病と闘っている子どもたちにテディベアを贈る日となりました。

おすすめ本： 「マルガレーテ・シュタイフ」ウルリケ・ハルベ・バウアー 東京新聞 野方図書館所蔵
「ディアテディ」伊豆テディベア・ミュージアム 学研教育出版 759円 本町図書館所蔵 など

金工

オルゴール


どこかあたたかで、心に直接届いてくるような響きが心を和ませてくれるオルゴール。最近ではデジタル化された楽曲を手軽にダウンロードできますが、約200年前に、音楽を聴く道具としてオルゴールが発展していった時には大変大掛かりな仕掛けが必要でした。シリンドラー式、ディスク式、装飾をこらしておさめられた家具調のもの。音の反響を大切にし、おさめる木の材質にもこだわって奏でられるオルゴールたちの虹色に輝く音楽は、特別な魅力を保っているように思えます。



オート・マタという、全自動で動き、音楽という耳を楽しませる道具だけでは事足らず、仕掛けを駆使して、目で見てもたのしい物を生み出したオルゴールの魅力は、生で身近に感じてもらうのが一番です。それを手にした時の当時の記憶に温度さえも呼びおこしてくれるような特別な道具を、心で味わってください。

参考図書：「オルゴール」田中健 京都書院 763.9円 中央図書館他所蔵

おすすめ本： 「明治の装飾工芸」金子賢治・構成 平凡社 中央図書館所蔵
「オルゴール誕生（たくさんのふしぎ 2009年7月号）」名村義人・文 福音館書店 中央図書館所蔵な

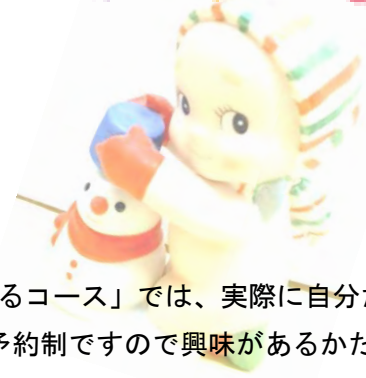


展示図書リスト

書名	著者	出版者	出版年	分類記号
白洲正子のきもの	白洲正子ほか	新潮社	2012	593.8シ
藤城清治 光と影の世界	藤城清治	平凡社	2012	726.8フ
誰でもできるはじめての切り絵	久保修	NHK	2011	726.9ク
韓国の美しいもの	小沢典代	新潮社	2010	750.2オ
伝統工芸の「わざ」の伝承	林部敬吉ほか	酒井書店	2007	750.2ハ
京都伝統工芸の近代	並木誠士ほか	思文閣出版	2012	750.2キ
世界のステンドグラス	ピーピーエス通信社	ピエ・ブックス	2011	751.5セ
手づくりするガラスの器	嶋崎千秋	誠文堂新光社	2012	751.5シ
少数民族の染織文化図鑑	カトリーヌ・ルグラン	柘風舎	2012	753ル
日本のかご	小沢典代	新潮社	2012	754.6オ
和をあそぶ江戸の切り紙	エキグチクニオ	誠文堂新光社	2008	754.9エ
北欧の切り紙インテリア・モビール	Jens Funder-Nielsen	池田書店	2008	754.9フ
あそびのおりがみ	山本由紀子	フォーラム・A	2012	754.9ヤ
世界で唯一日本万華鏡博物館	大熊進一	幹書房	2012	759オ
押絵羽子板	西山鴻月	日貿出版社	2007	759ニ
華麗な夢の世界 万華鏡	照木公子	文化出版局	2000	759マ
ふるさと玩具図鑑	井上重義	平凡社	2011	759.9イ
江戸の縁起物	木村吉隆ほか	亜紀書房	2011	759.9キ
マトリョーシカ大図鑑	沼田元気	二見書房	2010	759.9ヌ



施設紹介



日本万華鏡博物館

万華鏡の世界にどっぷりとはまりたい方には最高の博物館です。

「見るコース」では、万華鏡 200 年の歴史を知ることができます。「作るコース」では、実際に自分だけの万華鏡を作って持ち帰ることができます。日本万華鏡博物館は完全予約制ですので興味があるかたは事前に問い合わせのうえ、足を運んでみてください。

場所：埼玉県川口市幸町 2-1-18-101

電話：048-255-2423

HP：<http://nihonmangekyouhakubutsukan.jimdo.com/>

東京おりがみミュージアム（日本折紙協会事務局）

おりがみのギャラリーやショップ、資料室、講習室などがあります。

場所：東京都墨田区本所 1-31-5

電話：03-3625-1161

HP：<http://www.origami-noa.jp/>

運がよければ、おりがみ
博士に会えるかも



伊豆・テディベアミュージアム

テディベアの歴史と文化を紹介するクマのぬいぐるみの美術館です。アンティーク・ベアと世界のテディベアアーティストたちの限定作品を中心にテディベア 1000 体を常時展示しています。

場所：静岡県伊東市八幡町 1064-2

電話：0557-54-5001

HP：<http://teddynet.co.jp>

オルゴールの小さな博物館

心に触れるアンティークオルゴールの音色を多くの人に…個人収集家が開いた日本で最初の博物館です。約 100 年の歴史を持つオルゴールの魅力を知ることのできるこの場所も開館から 30 年の節目、来年 5 月 15 日で閉館予定です。

※ 開館状況など、必ず事前に問い合わせのうえ、来館してください。

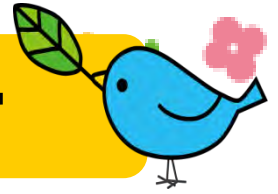
場所：東京都文京区目白台 3-25-14

電話：03-3941-0008

HP：<http://www.musemuse.jp>



本町図書館からのお知らせ



本町図書館個性づくり展示「遊びから入る工芸」はお楽しみいただけましたでしょうか。これからもみなさまの身近にある、お役に立つ図書館、新しい発見のある図書館を目指して、スタッフ一同取り組んでまいります。

☆おはなし会☆

毎週土曜日 11:00~11:30
第4水曜日 15:30~16:00
児童室にて開催中！
第4土曜日は乳幼児向けの
「おひざでだっこのおはなし会」

☆個性づくり展示☆

第六回・デザイン
第七回・浮世絵
第八回・舞台
第九回・ジブリ

過去の個性づくりの本も
展示しております。
是非ご覧下さい！

児童コーナー

☆冬の子ども会☆

平成 25 年 2 月 2 日 (土)

11:00~12:00

工作会では
フェルトのハートバック
を作ります



第一回・岡本太郎

第二回・落語

第三回・映画

第四回・伝統工芸

第五回・音楽は、

1階7門書架にあります。

☆1月・2月の休館日のご案内☆

<1月>

7日・21日・28日の月曜日・1日(火)~3日(木)

15日の火曜日 25日(金)・館内整理日

<2月>

4日・18日・25日の月曜日・12日火曜日

22日(金)・館内整理日

「本町ほのほのだより」
第11号は2月23日
発行予定です。

